

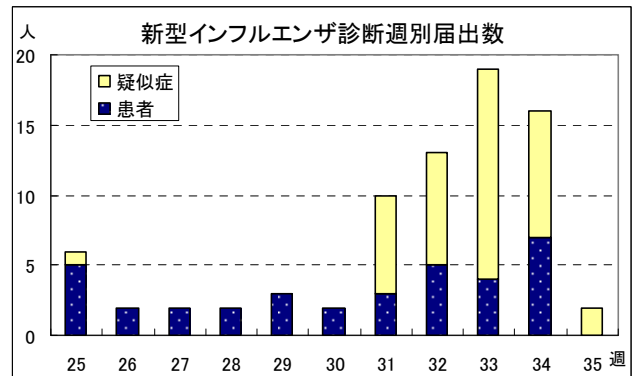
さいたま市インフルエンザ情報（速報）

2008-2009 年シーズン、第 35 週（8 月 24 日～8 月 30 日）

I. 新型インフルエンザ患者届出状況

第 35 週に 4 人※の届出（患者 1 人、疑似症 3 人）がありました。市内の累積届出数は 77 人となりました。（グラフは診断週で作成）

※感染症法施行規則（厚生労働省令）の改正により、8 月 25 日から当分の間、医師の届出は、不要となりました。そのため、35 週は 8 月 24 日、1 日のみ報告期間となっています。



7月24日以降はクラスター（集団発生）サーベイランスによる届出を集計

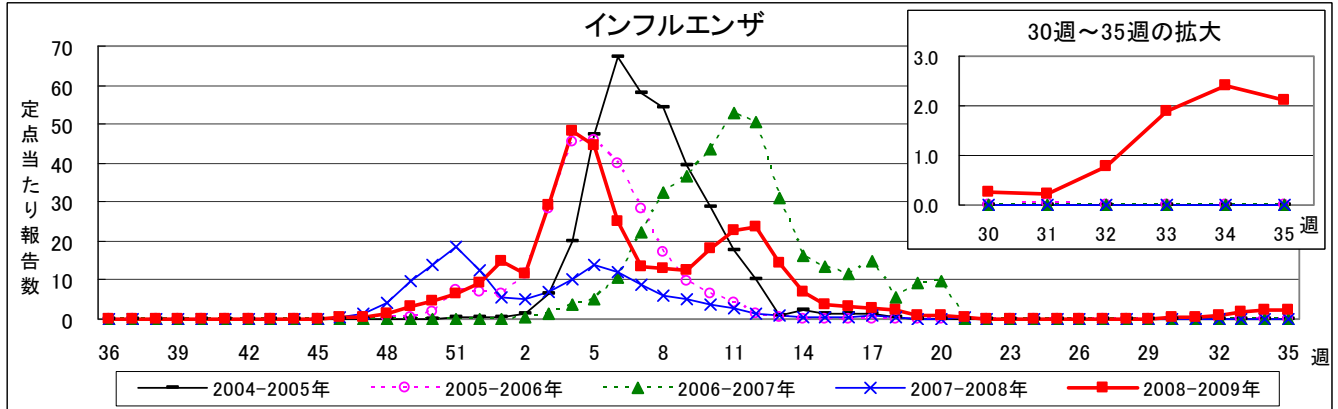
II. インフルエンザ患者発生報告状況

感染症発生動向調査による市内定点医療機関からの患者報告状況

定点医療機関からの患者報告数は 80 人、「定点当たり報告数」は、先週の 2.42 人から 2.11 人と同水準で推移し、流行開始の指標となる「定点当たり報告数 1.0 人」を超えています。年齢階級別では、5-9 歳が 27 人と最も多く、次いで 0-4 歳が 12 人、15-19 歳が 12 人、10-14 歳が 11 人、20 歳代が 8 人でした。ウイルス検出状況から、その多くは新型インフルエンザ患者と考えられます。

新学期がはじまり、これからの動向が心配されます。予防及び感染拡大防止のため、手洗い・ウガイ・咳エチケットの励行、並びに体調の悪いときは早めに休み、受診するよう、お願いします。

※ホームページ「さいたま市感染症情報センター」に、「咳エチケット」などの予防情報、「自宅療養時の注意点」を掲載しています。ご活用ください。（内容は随時更新しています、ご注意ください）



III. 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況について

インフルエンザ検体のウイルス検出状況（第35週）
※すべて患者数で記載

| 検体採取週 | 検体数 (患者数) | 陽性数 | インフルエンザウイルス | | | |
|---------------------|--------------|-----|-------------|-----|---|--------------|
| | | | Aソ連 | A香港 | B | 新型 AH1pdm |
| 08年第36週 ～09年第14週 | 34 | 34 | 19 | 9 | 6 | 20 |
| 第18～31週 | 53 | 35 | 0 | 15 | 0 | |
| 第32週 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | |
| 第33週 | 11 | 11 | 0 | 1 | 0 | |
| 第34週 | 21 | 19 | 0 | 0 | 0 | |
| 第35週 | 9 | 9 | 0 | 0 | 0 | |
| 合計 | 137 | 117 | 19 | 25 | 6 | 67 |

市内で直近の 4 週間（第 32～35 週）に採取された 50 件中 47 件から新型 AH1pdm ウイルスが検出（PCR 検査）されています。

国立感染症研究所週報第 33 週によれば、インフルエンザ患者の報告数が増加し始めた第 28 週以降、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、総検出数（2,857 件）のうち、新型 AH1pdm の検出数（2,774 件）が 97.1% を占めており、最近の発生患者のほとんどが新型インフルエンザに

り患しているものと推定されるとしています。（8 月 20 日現在報告分）

※この情報は 9 月 1 日午後 3 時現在の速報です。後日データの修正をすることがあります。